



◇6年生が、「一支国博物館」の見学で、しっかりとした態度で見学ができましたので、「1」

◇5年生の赤星左京くんが、6月19日（土）学校の中庭を掃いて、きれいにしてくれましたので、「1」。

◇6年1組の子どもたちが、算数の勉強の様子を、他の学校の先生に見てもらい、素晴らしい勉強ができているとほめてもらいました。その前には6年2組の子どもたちが同様に頑張りました。6年生の頑張りで、「1」

◇野球クラブが、タチカワ杯で準優勝しましたので「1」。

◇バスケットボール夏季大会で、男子チームが優勝。女子チームが優勝しましたので「2」。

◇なかよし集会は体育館には集まらずに放送で行いましたが、運営委員会の子どもたちが、がんばりましたので「1」。

今回は、1 + 1 + 1 + 1 + 2 + 1で、合計「7」。これを前回の「30」と合わせて「37」になりました。「40」の大台も目の前です。1学期も残りわずかとなりましたが、子どもたちの頑張りが、楽しみです。保護者の皆様、応援と後押しの励ましをよろしくお願いします。

壱岐法人会様から寄附金をいただきました。ありがとうございました！

この度、壱岐法人会から将来の壱岐市を担う児童生徒のために役立ててもらいたいとのことで、壱岐市教育委員会へ100万円の寄附金をいただいております。その中から、本校にも45,000円を配当いただきました。教育活動の充実等に向けて、有効に活用させていただきます。壱岐法人会様、ありがとうございました。

主な行事予定

- <7月>
- 13日（火）：全校体育（ラジオ体操）
 - 14日（水）：支部児童会・集団下校
 - 20日（火）：第1学期終業式
- 夏休み

21日（水）～8月31日（火）
- <8月>
- 9日（月）：登校日 平和学習
 - 11日（水）～18日（水）：学校閉庁日
 - 20日（金）：登校日
- <9月>
- 3日（金）～5日（日）：夏休み作品展
 - ※ 3日8:00～18:00、4～5日8:00～17:00
 - 26日（日）：運動会

※上記の内容は、あくまで現時点での予定であり、変更になる場合があります。

むし歯の治療に連れて行けるのは？

先日行った学校保健委員会で示されたデータの中で、すぐに大幅な改善につなげられるのが、歯の健康状態です。

本校では、むし歯が1本もない子どもとむし歯の治療が終わった子どもが、全児童の75％になります。逆に、むし歯がある子どもは約25％ですが、ほとんどが1本か2本という、受診すれば、すぐに治療が終わるという状況です。

子どもは、自分だけで歯医者に行くことはできません。仮に行きたくても、保護者の皆さんが連れて行ってくださらなければ、行くことはできないのです。そして、忘れてはならないのが、むし歯は放っておいて治ることはないということです。

保護者の皆様、お子様にむし歯がある場合には、できるだけ早く、受診して、治療してください。

子どもの歯を、むし歯から早く救い出すための一歩目を踏み出せるかどうかは、保護者の皆様にかかっています。

保護者の皆様、よろしくお願いします。



人を
喜ばせる
人になる

盈科小学校学校便りNo.10

令和3年7月12日
文責 校長 中上一義

心はこうして育っていく！

今年度の教育週間の取組の一つとして行った「道徳・語り場」。

授業参観で見たり、聞いたりした子どもたちの考えや、学習した道徳の資料について、ご家庭で、保護者の皆様に、子どもたちと話していただく取組です。

今回の取組では、よかったら、家庭で子どもとこのような話をしました、親としてこのようなことを考えましたといった、内容等を教えていただけませんかというお願いをしていましたが、その結果 ……………！！

保護者の皆様からいただいた用紙は、予想をはるかに上回る数になりました。そして、そこに書かれていた言葉は、いずれも珠玉の言葉でした。

親だからこそ言える言葉、親からの言葉だからこそ重みと味わいのある言葉のオンパレードです。一枚一枚読ませていただきながら、感動しました。

- 例えば、「命」についての学習や内容をふまえて、
- ・感謝の気持ちを忘れず、命をいただいているという感覚を親子共々大切にしていきたいと感じてくださった方。
 - ・命をもらって生きているから、自分の命を大切にしようと話して下さった方。
 - ・「いただきます」という挨拶を何気なく言っていたけれども、それは「命をいただいているんだね」と話して下さった方。
 - ・資料の中の「命をつないでください」と言ったのはどうしてかということについて、親子で深く話し合ってくくださった方
 - ・生きている者は、すべてかけがえのない命で、いろいろな方々に支えてもらって生きているということを一緒に考えてくださった方
 - ・「友達」や「友情」、「正直」や「公平」について考える学習では、自分だったらどうするかを家庭でも話してくださった方
 - ・ご自分の大切な友達のことを話して友情について考えてくださった方
 - ・周りに流されてしまうことが多い中、「良くないな」と思うことがあったら、勇気を持って「NO」と言える人になって欲しい。もしも大きな声で言えなくても、相手のために何か少しでもアクションを起こせる人になってほしいと話してくださった方（※紙面の都合で、ほんの一部しか紹介できないのが何とも残念です。）

私たちは、道徳の時間を一生懸命に指導しますが、その一時間で、子どもの考え方や生き方のすべてが決まるものではありません。だからこそ、例えば、今回のように、道徳の時間の授業や資料をもとにした家庭での親や家族からの語りかけが必要になると思うのです。

子どもの心を形づくるのは、生まれてから現在まで、家庭における、親をはじめとする周囲の人のふるまいや、そこで自分にかけられた言葉や周囲を飛び交う言葉、様々な体験と、学校における毎時間の授業や、先生や友達のふるまいや言葉、様々な体験の積み重ねだと考えます。

これからも、学校では、道徳の時間を大事しながら、日々の積み重ねも、さらに大事にしていきたいと思います。ご家庭でも、引き続き、これらのことを大事にしていって下さい。

保護者の皆様、「道徳・語り場」の取組へのご協力、ありがとうございました。そして、これからもよろしくお願いします。

